

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (近畿)	◎	百貨店（サービス担当）	・今後も従来の傾向に変化はなく、新規ショップの開店や食料品フロアの改装効果で来客数が増え、売上の確保につながる。また、今夏は猛暑が予想されるため、クールビズ商材の販売拡大で売上が増加する。
	◎	家電量販店（企画担当）	・2027年の蛍光灯の販売中止に伴う、LEDの販売増加が続くと予想される。
	○	一般小売店〔化粧品〕（経営者）	・客単価の上昇傾向は続くと予想されるが、低単価品が中心の他社店舗は順調に推移しているため、化粧品を購入する客はやや増加傾向にある。通勤でマスクの利用がほぼなくなるなど、かつての日常的な場面が戻り、基礎化粧品や紫外線対策の化粧品は順調に伸びているため、今後もこの状況は続くと予想される。
	○	百貨店（管理担当）	・改装も落ち着いてきたため、売上の大幅な改善を見込んでいる。
	○	百貨店（マネージャー）	・6月末にはリニューアルオープンを迎え、来客数の増加が予想されるため、今後は売上の上振れが期待される。
	○	百貨店（外商担当）	・新店舗の開業による影響は、富裕層を中心にしばらく続くほか、インバウンドもピーク時に近いレベルに回復している。
	○	コンビニ（経営者）	・気温が例年よりも高くなり、晴れの日も増えるなか、食品メーカーと共同開発した飲料の売出しが今シーズンは多いため、飲料の販売が伸びる。
	○	コンビニ（経営者）	・来客数は現在の水準で推移しそうであるが、今後はまた値上げラッシュがありそうで、客単価の上昇が予想される。
	○	コンビニ（経営者）	・来月からは繁忙期に入るため、期待される。
	○	コンビニ（経営者）	・地域の大きな祭礼の時期が近づいており、先行きに期待している。
	○	コンビニ（経営者）	・暑くなれば、飲料や食品の売上は増える。
	○	家電量販店（店員）	・新たな省エネ基準の導入に伴い、売上が右肩上がりとなるのは間違いないが、単なる需要の先食いであるため、今後の動きが重要となる。
	○	乗用車販売店（役員）	・新車では新型モデルの発売が予定されており、現状よりも良くなると予想される。ただし、世界情勢や経済環境は不透明であり、物価上昇も続くため、高額な耐久消費財への消費は積極性に欠けそうである。さらに、高額な国内メーカーや新興メーカーのモデルのほか、輸入車との競合もあり、競争環境は従来よりも厳しくなる。
	○	乗用車販売店（マネージャー）	・株価の上昇に伴い、景気は少しずつ上向くと予想される。ただし、株価の上昇と景気の回復のスピードには、大きな差がある。
	○	都市型ホテル（スタッフ）	・インバウンドの予約は団体客、個人客共に伸びている。それに伴い、客室単価を上げて販売しているが、宿泊税の増額で不満が出ているのも事実である。ただし、宿泊に伴う食事や定例開催の食事会も受注できているため、宴会、食堂共に売上は確保できる見込みである。
	○	通信会社（社員）	・物価の上昇傾向が続くなかでも、比較的成本の低い固定回線でのインターネットの利用には割安感がある。
	○	通信会社（社員）	・今は閑散期であるが、今後は例年であれば、新商品が発売される時期となる。
	○	テーマパーク（職員）	・原油の輸送問題が解決すれば、エネルギー価格の上昇も一旦は落ち着いてくる。
	○	観光名所（企画担当）	・前年のゴールデンウィークは大阪・関西万博の開催効果が出始めた頃であり、今年はその反動が出ているものの、前年を少し上回る来場者となったため、今後も回復が続く期待が出てきている。
	○	その他レジャー〔スポーツ施設〕（経理担当）	・中東情勢の改善により、先行きは良くなる。
○	その他サービス〔マッサージ〕（スタッフ）	・アロマオイルのマッサージで服を脱ぐため、寒い時期よりも暑い時期の方が来客数は増える。	
□	一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	・中東情勢が落ち着かなければ、今後も状況は変わらない。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店 [手ぬぐい] (経営者)	・やや悪くなると予想されるが、大きくは変わらないとみられる。
<input type="checkbox"/>	一般小売店 [野菜] (店長)	・物価の上昇に一般消費者の所得が追いついていない。株価は上昇しているが、実体経済への影響はみられないなど、今後も厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (広報担当)	・今年に入って、国内客の売上は前年を上回る傾向が続いているが、現実問題としては中東情勢による消費マインドへの影響が懸念される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・ここ数か月の状況に大きな変化はない。今後も特段の変動要因はなく、数か月は今の流れが続くと予想される。現状、中国人客が半分以下となったものの、台湾や韓国などのアジアからのインバウンドは好調が続いている。円安などの影響もあって、単価は大幅に上昇した。国内客もこの数か月で大きな変化はないが、外商を中心とした富裕層の好調が続いており、売上は前年を少し上回る傾向となっている。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・外部環境の変化の影響もあるが、大きな流れは変わらない。好調なインバウンド需要は、中国以外からの増加で、特選品を中心に客単価が非常に高い。また、富裕層に対する新たなアプローチとして、外商の上位客への特別な接客が本格的に始まる。国内客の中間層も、夏のレジャー素材の売行きが期待されるが、その一方で選択消費が強まることも予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (売場マネージャー)	・今月の推移から、大きな上振れや下振れとなる要素はなく、消費は現状維持が予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (販売推進担当)	・株価などが高水準で維持できれば、富裕層の購入は増えるが、原油価格の上昇による水道光熱費の負担増などで、一般の家庭では生活防衛による買い控えが発生する。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (外商担当)	・最高値を更新した株価は、今後も高値が続くと予想され、富裕層の需要は旺盛となるため、海外の高級ブランド品や高級時計の需要は増え続けることが確実である。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (営業推進担当)	・原油相場の不安定感や、価格の高騰に伴う物価上昇の影響が予想される。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (マネージャー)	・現在の景気は上向き傾向にあるが、中東情勢の変化による物価上昇の影響が本格化すれば、買い控えの動きが増える。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (商品担当)	・様々な部分で不透明感が非常に強いいため、今後も状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (宣伝担当)	・中国のインバウンドによる免税売上が前年比で半減しており、この状況は今後も続くと予想される。今後は原油価格の上昇による、様々な商品の値上げが進むなか、特に中間層の消費意欲の減退を懸念している。宣伝広告の見直しなどで対応しているが、厳しい状況が続く見込みである。
<input type="checkbox"/>	百貨店 (商品担当)	・株価の上昇による外商客や富裕層への良い影響がみられ、宝飾や時計などの販売は好調が続くと予想される。一方、前年の大阪・関西万博による反動減は不透明であり、関連売上の喪失は厳しいが、前年は大阪・関西万博に回った消費が、今年はどこに回るかが注目される。燃料価格の上昇による海外旅行の減少を含め、今夏の消費動向には期待が掛かる一方、全体的には物価上昇などの不透明感も強い。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・中東情勢などによる物価の上昇に、収入の増加が追いついていない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (店長)	・良くなる情報はなく、改善に向けた雰囲気もない。
<input type="checkbox"/>	スーパー (社員)	・購買意欲が比較的高い若年層の客は、低価格に惹かれて競合スーパーに流出している。やや年配の客は、引き続き来店がみられるものの、購買意欲は高くないため、今後も厳しい状況が続くようである。
<input type="checkbox"/>	スーパー (企画)	・ナフサの流通の目詰まりによる包装材の値上げもあり、食品の価格は今後上昇が進むため、消費の冷え込みが予想される。
<input type="checkbox"/>	コンビニ (店員)	・長期休暇の時期となるため、旅行客の来店が多くなる。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店 (店長)	・今まではスーツの生地価格などが上昇していたが、ここへきて原油を材料としたボタンや裏地などの価格上昇も始まっている。工場からの出荷コストが上がるなか、販売量は維持できると予想されるが、利益は圧迫されている。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店 (販売担当)	・ガソリン代に対する補助金のお陰で、車の買い控えまでには至っておらず、しばらくは現状のままと予想される。

<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（販売担当）	・現状の抜本的な見直しがなければ、販売台数は伸びない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・地政学的リスクが緩和され、物流が落ち着くまでは、厳しい状況が続く。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [宝飾品]（販売担当）	・宝飾品業界では、材料である地金相場が高止まりしているほか、直接の関係はないものの、ナフサ不足による資材価格の高騰や資材不足で、値上げや企画の変更、欠品なども起きている。現時点では、景気の上向き要因が全く見当たらない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店 [医薬品]（管理担当）	・食品や日用雑貨などの生活必需品の販売は減少に転じたが、気温の上昇に伴って、飲料などを含む夏物商材の売上は増加していく。その一方、花粉症も落ち着き、医薬品や健康食品、衛生用品の販売減少は避けられない。今後は大きな上昇要因は見当たらないが、UV関連や制汗剤などの夏物商材を中心に、化粧品や化粧雑貨の好調を維持していく。
<input type="checkbox"/>	その他小売 [インターネット通販]（オペレーター）	・新カタログは発刊されるが、目新しい商品が多くないため、状況は変わらない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・これから梅雨や台風、猛暑などで外出しにくい季節になるため、余り期待はできない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（企画）	・国際情勢の不安定化によるインバウンドの減少を、国内需要ではカバーし切れず、今後の改善も予想しにくい。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（企画）	・現状は原材料費や運送費、エネルギー価格などの伸びは鈍化しているが、包材費は増加傾向にある。また、人件費はパートの確保が厳しくなっているため、更なる引上げが必要であり、利益の確保に影響してくる。また、営業活動は好調に推移しているが、今後は中東情勢の影響が懸念される。
<input type="checkbox"/>	その他飲食 [洋菓子]（管理担当）	・駅周辺では大規模な工事が続いており、今後も来客数への影響が懸念される。さらに、ナフサ価格の高騰や物価上昇の影響により、し好品は買い控えの傾向となる。今夏は例年以上の猛暑が予想されているため、非常に厳しい状況となる。
<input type="checkbox"/>	観光型ホテル（経営者）	・社会情勢が不安定で、先行きの見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	観光型旅館（経営者）	・様々な仕入商品の価格が高騰しており、景気に悪影響が出ている。
<input type="checkbox"/>	都市型ホテル（管理担当）	・上向き要素が少なすぎる。
<input type="checkbox"/>	通信会社 [貴金属オークション]（経営者）	・中東情勢が落ち着き、貴金属の相場が安定してくるまでは、今の状況と大きくは変わらない。
<input type="checkbox"/>	通信会社（役員）	・市場環境の大きな変動要因は見当たらず、現在の景気動向が続くと予想される。
<input type="checkbox"/>	ゴルフ場（支配人）	・予約状況を考慮すると、安定しているものの勢いはなく、良くも悪くもない状態である。
<input type="checkbox"/>	競輪場（職員）	・通常であれば良くなる時期であるが、物価の上昇や中東情勢などが影響し、小幅の改善か横ばいの動きにとどまる。
<input type="checkbox"/>	競艇場（職員）	・賃上げや物価の上昇、海外情勢の変化に加え、政治面の変化による影響など、様々な要素がどのように作用するのか、見極めが難しい。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [イベントホール]（職員）	・催事は順調に開催されているが、ナフサ関係では消耗品が調達しにくくなっている。また、施設の改修工事に係る塗料不足や塩ビシートの調達が困難となっており、計画的な改修計画の変更や見直しが必要となる。
<input type="checkbox"/>	その他レジャー施設 [球場]（経理担当）	・プロ野球の交流戦や人気球団の試合のほか、人気グループのコンサートが予定されている。夏休み期間となるため、多数の来場者を見込んでいる。
<input type="checkbox"/>	美容室（店員）	・複合的なメニューについては、オーダーを控える動きが少し増えている。
<input type="checkbox"/>	住宅販売会社（企画担当）	・先行きが不透明なため、様子見の動きが多い。今後更に値上げが進めば、状況の悪化が予想される。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [住宅設備]（営業担当）	・仕事が途切れない安心感はあるが、作業員が足りない状態が改善される見通しは立たない。地方圏の社員に大阪での勤務を打診しても、良い返事が得られないため、現状の人員で対応するしかない。
<input type="checkbox"/>	その他住宅 [情報誌]（編集者）	・金利の上昇を見据えると、今後の見通しは厳しいが、金融資産の管理の一環として、高額な不動産には一定の動きが続くと予想される。

▲	商店街（代表者）	・安い商品は動いているなど、客が価格にこだわる様子がみられる。
▲	一般小売店〔花〕（経営者）	・現在の社会情勢のままでは、先行きの見通しは暗い。
▲	一般小売店〔時計〕（経営者）	・客との会話で多いのは、やはり物価上昇の話題である。前年からある程度は慣れてきたとはいえ、先行きが見通せない。食費の支出だけで精一杯というのは、年金生活者の切実な感覚であり、新しく何かを買う気にはならない。
▲	一般小売店〔事務用品〕（経営者）	・ナフサ不足の影響で、現場で利用するニトリル手袋などが不足している。
▲	一般小売店〔書籍〕（管理担当）	・中東情勢の不安定な状態が続く間は、景気は良くならない。
▲	百貨店（売場主任）	・中東情勢の不安定化によるガソリンやナフサ価格の高騰で、生活物資の価格上昇が懸念される。取引先からは包材などの値上げが厳しいという声が上がっており、インフレ懸念が解消されなければ、今後の景気は悪化していく。
▲	百貨店（企画担当）	・株価と為替の変動による影響は大きく、国際情勢が不安定な状況では見通しを立てにくい。
▲	百貨店（販促担当）	・今月は例年よりも気温が高く、雨も少なかったため、夏に備えるための商材を中心に好調であったが、2～3か月後には長引く暑さや猛暑の影響で消費の減退が進むことを懸念している。長引く暑さへのケアを軸とした商品の提案が重要となる。
▲	スーパー（経営者）	・食料品の消費税率引下げが決定していないため、消費者はますます生活防衛のために消費を控えている。
▲	スーパー（店員）	・高温が続く季節になると、野菜の生育が悪化し、価格の上昇が避けられない。それに伴い、客の様子も変わるため、先行きは不透明である。
▲	スーパー（企画担当）	・ナフサ由来商品の不足や値上げの動きが続くなか、インフレや中東情勢の先行きの見通しが立たないため、景気の悪化が予想される。
▲	スーパー（経理担当）	・物価上昇に歯止めがかからず、所得の増加も実感しにくい。自治体による給付策は少しあるものの、消費マインドに好影響を与えるほどのインパクトはない。
▲	スーパー（販売促進担当）	・政府はナフサの供給は落ち着くと発表しているが、中東情勢の沈静化は見通せず、景気回復に向かう材料がないため、しばらくは現状のままとみられる。
▲	スーパー（開発担当）	・中東情勢が安定せず、石油も入ってこないため、物価が上がり続けている。
▲	スーパー（企画）	・中東情勢の影響が長期化しており、6月からはナフサ問題による価格上昇分の転嫁が始まる予定である。ナフサ問題による負担の増加は、全体で1億円を超える予想であり、店頭価格に転嫁せざるを得ない。
▲	コンビニ（店員）	・中東情勢の緊迫化に伴う、原油価格や資源価格の上昇などに、景気の行方が大きく左右される。
▲	コンビニ（店員）	・中東情勢の影響で様々な制約が増え、便乗での値上げもみられる。当店でも手作りパンの売上が落ちたが、値上げが原因とみられる。
▲	衣料品専門店（店員）	・閑散期に入るほか、閉店となる店舗もあるため、状況は落ち着くと予想される。
▲	衣料品専門店（販売担当）	・物価の上昇によって、商品の価格を上げざるを得なくなるため、今後は売上に悪影響が出る。
▲	家電量販店（店員）	・エアコンの需要に対して、工事用の部材が足りないため、受注を制限する事態になる可能性がある。エアコン本体もメーカーの製造が追いつかない恐れがあり、夏の需要が前倒しになっている。
▲	家電量販店（人事担当）	・エアコンの販売が例年よりも早く伸びているため、今後は反動減が心配される。
▲	乗用車販売店（経営者）	・原油を始めとする、原材料価格の高騰が、物価を賃金以上に押し上げている。
▲	乗用車販売店（経営者）	・中東情勢が落ち着くまでは、石油製品の値上げも終わらず、景気が上向くことはない。日中関係の変化やロシアとウクライナの関係も落ち着かないため、日本の景気も悪化する。
▲	住関連専門店（店員）	・価格の高騰の影響で悪化する。

▲	その他専門店〔食品〕 (経営者)	・中東情勢の問題が解決しない限り、物価の上昇がエスカレートし、消費の落ち込みが予想される。
▲	その他専門店〔ドラッグストア〕 (店員)	・賃金の上昇見込みは薄い一方で、今後は日用品の値上げが避けられないなど、物価の上昇が進む。
▲	その他小売〔ネット通販〕 (管理担当)	・中東情勢の先行きが不透明である。
▲	一般レストラン (経営者)	・当市限定で、人気のプレミアム付商品券のキャンペーンが始まり、飲食店での利用が増える見込みのため、景気は少し良くなる。ただし、食品の値上げに続き、ナフサ不足で消耗品などの値上げや物資不足が進み、支出が増えているため、今後も先の見通せない不安な状態が続く。
▲	その他飲食〔ファーストフード〕 (店員)	・買物に出掛けた際に、いつもと同じ量を購入しても、合計額がかなり上がっているほか、周囲の人からも所得が厳しいという悩みをよく聞く。
▲	その他飲食〔自動販売機(飲料)〕 (管理担当)	・中東問題を含めて良い材料がなく、景気の上向く気配がない。
▲	観光型ホテル (経営者)	・前年は大阪・関西万博の開催で6～7月は団体客が多かった反動により、今年は団体客の受注減少が顕著である。個人客の動きも5月ほど活発ではないため、今後は来客数、販売量共に苦戦が予想される。
▲	都市型ホテル (客室担当)	・稼働率が伸び悩んでいる。
▲	都市型ホテル (客室担当)	・夏休み期間の予約の進捗状況は前年を下回っている。大阪・関西万博の開催で、高単価での販売が増えた前年とは異なり、販売価格が伸び悩んでいる。
▲	旅行代理店 (役員)	・長引く中東情勢の変化のほか、光熱費や物価の上昇による先行き不安から、旅行を控える動きがみられる。また、円安傾向の継続に加え、燃油サーチャージの引上げによる影響もあり、海外旅行の需要への影響が徐々に出てきている。海外旅行、国内旅行共に予算を抑えるために、行き先は近場を志向する傾向がみられる。
▲	旅行代理店 (支店長)	・株価の上昇など、好影響が期待される材料もあるが、現実的な環境には良くなる印象が持てないという客が多い。今夏も猛暑が予想されるなか、外出を後押しするイベントも少ないため、今後は悪化に向かう。
▲	タクシー運転手	・中東の海峡封鎖の問題が続くなか、輸入に対する確実な安心感が必要であり、それまでは明るい兆しが無い。
▲	通信会社 (営業担当)	・中東情勢が改善しない限り、半導体メモリの価格高騰による原価上昇の動きに変化はない。
▲	遊園地 (経営者)	・原油価格の上昇が、電気代などの身近な部分に波及してくることで、レジャーなどの余暇消費に対して財布のひもが固くなる。
▲	その他レジャー施設〔飲食・物販系滞在型施設〕 (企画担当)	・今年も猛暑となるほか、物価の上昇で余暇消費の減少が危惧される。
▲	美容室 (店長)	・物価の上昇で節約志向が強まり、化粧品に対する節約傾向が進んでいる。それに伴い、今後は厳しい状況が予想される。
▲	その他サービス〔学習塾〕 (スタッフ)	・海外情勢の影響で、日用品や食品などの品不足や値上げが続くなか、教育費が削られるおそれがある。
▲	住宅販売会社 (経営者)	・住宅ローンの金利が上昇傾向にあり、客足が止まりつつある。
▲	住宅販売会社 (経営者)	・地価が高水準で推移しているため、消費者の購買意欲が低下しており、今後は自然と価格調整局面に入ることが予想される。
▲	住宅販売会社 (従業員)	・金利の上昇や中東情勢による資材不足、工事費の高騰など、不動産の開発環境は厳しくなっているため、調整局面を迎えると思う。
▲	その他住宅投資の動向を把握できる者〔不動産仲介〕 (経営者)	・金融機関の融資基準の厳格化に加え、物価の上昇や原油の供給不安などに伴う節約意識も働くため、消費は減速する。
▲	その他住宅〔展示場〕 (従業員)	・住宅ローン金利の急上昇に加え、ナフサ価格の高騰による建築費の上昇も懸念されるため、今後は消費者マインドが更に悪化する。

	×	一般小売店〔貴金属製品〕（従業員）	・物価上昇の悪影響が出る。
	×	一般小売店〔衣服〕（経営者）	・中東情勢の影響で、物価の更なる上昇が懸念されるなか、景気が良くなる要素は全くない。
	×	一般小売店〔雑貨〕（店長）	・商品の値上がりに伴い、買い控えが発生する。
	×	一般小売店〔ガラス細工〕（店長）	・株価は上昇しているが、不安要素ばかりで安定しない状況であるため、危機感が拭えない。
	×	一般小売店〔呉服〕（店員）	・着物はぜいたく品であり、消費者は必要な物から順番にお金を使うため、社会情勢が安定しなければ着物は購入されない。
	×	一般小売店〔花〕（店員）	・石油関連の資材価格も高騰しているため、利益率が下がっており、今後も厳しい経営となる。
	×	衣料品専門店（経営者）	・収入に対する食料品への負担割合が高まり、洋服を買う状況ではない。
	×	衣料品専門店（経営者）	・売上の動きをみると、サービス品か必要不可欠な商品のどちらかとなっている。近隣の飲食店も、いつも満席の店舗で空席が増えている。
	×	乗用車販売店（経営者）	・原油が入ってこない影響で、エンジンオイルなどの入荷もない。整備にも影響が及び、状況は悪くなる。
	×	住関連専門店（店長）	・建築、インテリア業界では、石油製品が不足気味な状況を受けて、工期や納期の遅れに関する話題が少しずつ出始めている。
	×	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経理担当）	・ガソリン補助金も、財源の問題でいつまで続くかは分からない。政府は補助金の基準価格の見直しなど、今後の対応を検討中であるが、中東情勢の影響が長引けば、燃料費の高騰によって更なる物価上昇につながる懸念される。
	×	一般レストラン（経営者）	・物価の上昇や、自転車への新たな規則の導入、中東情勢など原因はいくつかあるが、都市部と違って人通りがなく、天候に左右される小さな街では、先行きに不安しかない。
	×	一般レストラン（店員）	・物価の上昇が止まらない限り、状況は良くならない。
	×	観光型旅館（経営者）	・時期的な動きもあるが、予約状況は芳しくない。
	×	通信会社（経営者）	・今後も円安傾向が続くと予想される。
企業 動向 関連 (近畿)	◎	木材木製品製造業（経営者）	・中東情勢が見通せないなか、円安の進行や海上運賃の高騰など様々な影響が出ており、物価の上昇気運も高いことから、販売面への悪影響が予想される。一方、取引先からはナフサ関連の引き合いがあり、価格が高くても成約につながる案件がみられる。
	○	化学工業（企画担当）	・中東の海峡封鎖の問題が解決するとの予想から、先行きは良くなる。
	○	輸送業（サービス担当）	・中東情勢が落ち着けば、雰囲気は良くなる。
	□	繊維工業（総務担当）	・生活費の負担が増えるなか、消費者が楽しめる企画を検討し、取引先と参加型のイベントなどに取り組んでいく。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	・現時点では、改善への期待は薄い。
	□	プラスチック製品製造業（経営者）	・受注の先食いがみられるため、余り良くならないと予想される。今年後半までは、鈍い動きが続きそうである。
	□	金属製品製造業（製造担当）	・先行きの見通しが立たない。
	□	一般機械器具製造業（経営者）	・取引先の長期の投資計画が、石油価格の高騰によって見直されているため、数か月後の景気は悪化傾向となりそうである。
	□	一般機械器具製造業（設計担当）	・中東情勢の影響で先行き不透明であるが、大きな変化はないと予想される。
	□	輸送用機械器具製造業（経営者）	・販売店には前向きな意識がみられない。生活必需品の価格上昇や石油製品の入手困難など、不確定要素による不安な雰囲気が広がっている。
	□	建設業（経営者）	・現状から判断すると、引き合いが増えても受注はそれほど増えないため、状況は大きく変わらない。
	□	輸送業（商品管理担当）	・例年7～9月は家具の売上が減少するが、酒類は売れるため、大きくは変わらない。
	□	広告代理店（営業担当）	・上半期では、良くなる材料が見当たらない。
	□	司法書士	・現状が大きく変わることはない。

□	その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	・長引く中東情勢の影響から、夏の電気代の高騰が懸念される。その一方、ゴールデンウィークの売上状況をみる限り、一定の節約志向は続くものの、メリハリのある消費行動がみられるため、大きな影響はないと予想される。
□	その他サービス業〔受託調査〕（調査担当）	・政府による積極財政政策では円安に歯止めがかからず、原材料価格の上昇は今後も続く予想される。
▲	食料品製造業（従業員）	・中東情勢の影響が続くなかで、一部の資材の動きは好転しているが、供給のない資材もあるため、今後は生産ができなくなる可能性もある。また、当然ながら仕入価格も高騰している。
▲	食料品製造業（管理担当）	・大阪・関西万博の復刻商品の販売が始まり、商品の売行きは好調であるが、前年の売上には届いていない。
▲	食料品製造業（営業担当）	・物価の上昇により、今後の売上は厳しくなりそうである。
▲	繊維工業（管理担当）	・仕入原価の変動が予想される。
▲	出版・印刷・同関連産業（企画営業担当）	・夏のイベントに期待しているが、原価の上昇による利益率の低下を懸念している。
▲	化学工業（製造担当）	・中東情勢の影響の長期化による石油価格や建築資材価格などの高騰は、すぐに改善されるものではない。インク等の製品も作れなくなる場合、当社のパッケージ費用などに即座に影響はないものの、何らかの対策を講じる必要がある。
▲	化学工業（管理担当）	・中東の海峡封鎖が続くかどうかは左右される。
▲	窯業・土石製品製造業（管理担当）	・中東情勢の不透明感を主な要因とした、石油関連価格の上昇は避けられず、更なる物価の上昇が進むと予想される。さらに、実質賃金は低下傾向で個人消費への悪影響が予想されるため、景気はやや悪くなる。
▲	金属製品製造業（経営者）	・自動車関連の7～9月期の受注内示が、減少傾向となっている。
▲	電気機械器具製造業（経理担当）	・先行きの見通せない要素がある限り、購入意欲は下がらざるを得ない。
▲	電気機械器具製造業（宣伝担当）	・ナフサ不足により、ゴミ袋などの身近な商品の価格が上がるだけでなく、そもそも買えない状況となっている。この状況が長引くようであれば、更なる景気の悪化は避けられない。
▲	建設業（経営者）	・取引先の業績も今後は不透明で、設備投資にも慎重な姿勢がみられる。建設資材の納期が不確定なほか、価格の高騰により、当初の計画からかい離しつつある。
▲	輸送業（経営者）	・現時点はエンジンオイルの備えが少しあるが、今後はトラックの運転を更に減らす必要がある。
▲	輸送業（営業担当）	・部分的な運賃の値上げを試みた結果、客離れにつながるなど、物流業界での値上げは困難である。
▲	輸送業（営業担当）	・石油不足が解消されるまでは、今の状況が続くと予想される。
▲	金融業〔保険〕（経営者）	・物価やエネルギー価格の上昇、実質賃金の伸び悩みにより、個人消費の低迷が続くと懸念される。さらに、海外経済の減速や金利の上昇、人手不足による企業の負担増加も重なり、設備投資や中小企業の経営に悪影響が広がることで、景気の減速が進む。
▲	金融業（営業担当）	・中東情勢の影響は、落ち着いてからも数か月は続きそうであり、今後はやや悪くなると予想される。
▲	金融業〔投資運用業〕（代表）	・早く中東問題を収束させ、通常原油の流通を確保してほしい。
▲	金融業（営業担当）	・中東情勢の影響の長期化により、仕入商品の価格が高騰する。
▲	広告代理店（管理担当）	・価格の高騰が著しい。
▲	経営コンサルタント	・今の状況は今後も落ち着かず、対応できる中小企業は限られているため、投資を控えるか、経営に行き詰まる動きが増える。
▲	その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	・中東情勢が落ち着けば、今の状況は変わるが、このまま混乱が続けば、商品不足の影響で売上は減少する。
×	化学工業（経営者）	・中東の海峡封鎖の影響で、原材料価格は軒並み3～4割の値上げとなり、有機溶剤に至っては2倍以上の価格となっている。さらに、原材料の入荷が不安定で、遅延も多いとなれば、さすがに景気は急降下せざるを得ない。

	×	その他製造業〔履物〕 (団体職員)	・中東情勢の影響が長期化する見通しのため、原材料価格が大幅に上昇する。
	×	建設業 (経営者)	・中東情勢の先行きが見通せない状況では、資材価格の高騰や入荷の遅延は避けられない。このままでは営業や受注の制限を検討する可能性が出てきている。
	×	通信業 (管理担当)	・原油価格の上昇で、非常に厳しい状況となる。
	×	不動産業 (営業担当)	・今後は中東情勢により物価が更に上がると予想される。賃料の低下や空室率の上昇に加え、物価の上昇などで景気は悪くなる。
	×	その他サービス〔自動車修理〕 (経営者)	・材料が入ってこないほか、材料価格がかなり上がっている。また、納期が未定といったケースもある。
	×	その他非製造業〔衣服卸〕 (経営者)	・中東情勢の安定が見通せないなか、状況の悪化が予想され、夏にかけて業況は大きく落ち込む。
雇用 関連 (近畿)	◎	—	—
	○	人材派遣会社 (役員)	・賃金のベースアップが反映された魅力的な求人の増加が、求職者の活発な動きにつながる。
	○	人材派遣会社 (支店長)	・物価上昇の影響は余りみられず、市場はかなりのスピードで動いている。
	○	民間職業紹介機関 (職員)	・学校の夏休み期間中の改修工事などで、求人数の増加が見込まれる。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	・依然として事務職を希望する求職者が多いなか、求人のミスマッチが発生している。現状は求人の減少がみられる一方、求職者は多いという構造が固定化しているため、求人市場全体の景気は今後とも変わらない。企業による採用の抑制と、求職者の根強い就職希望が続くなか、好況にも不況にもならない停滞感が続く見込みである。また、企業による事業の効率化が進んでも、雇用の流動化にはつながらないため、市場はしばらく平行線をたどると予想される。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	・物価上昇への不安から、求職者が時給の条件にますますシビアになっている。
	□	職業安定所 (職員)	・求人数は前年と同水準であるが、不安定な国際情勢が先行きの不安材料となっている。
	□	民間職業紹介機関 (営業担当)	・2028年卒業者向けのインターンシップの広報は、恐らく今が参加動員数の最盛期とみられる。下半期以降は参加数が減る見込みであるが、出展企業側としては、秋冬のインターンシップやオープンカンパニーを実質的な企業説明会として実施しているため、夏に獲得した学生をどれだけ引き止められるかが課題である。そこでうまく引き止められなかった企業が、秋冬インターンシップの合同企業説明会への出展や、情報メディアへの広告掲載を増やすとみられる。一方、2027年卒業者の求人は2月が最盛期であり、今後は徐々に縮小傾向となるが、内定辞退がどこまで出るかによって、今後の求人数が変化すると予想される。
	□	その他雇用の動向を把握できる者	・事業所からは、中東情勢の影響でナフサ由来の原材料が入手困難という声や、仕入価格の急激な上昇を懸念する声が出ている。雇用に影響を及ぼす事態にならないか、状況を注視しているが、現状では大きな変化はみられない。
	▲	人材派遣会社 (支店長)	・石油関連の仕入れの混乱が収まらない限り、状況は更に悪くなりそうである。
	▲	人材派遣会社 (管理担当)	・中東情勢の影響の長期化により、各種値上げや商品不足が発生している。この状況が好転しない限り、景気が良くなることはない。
	▲	新聞社〔求人広告〕 (担当者)	・新聞広告の受注は、中東情勢などの影響があり、今後の見通しを下方修正せざるを得ない。
	▲	新聞社〔求人広告〕 (営業担当)	・これまでの物価上昇への対策が進んでいるとはいえなかつ、今回の原油の問題も同じ道をたどると予想される。
▲	職業安定所 (職員)	・中東情勢を不安視する企業が多く、既に影響を受けている企業もみられる。	
▲	職業安定所 (職員)	・中東情勢の影響による、材料不足が顕在化する。	
▲	職業安定所 (職員)	・中東情勢の先行きが不透明とする事業所が多いほか、受注の減少や価格の高騰に苦慮している企業が多い。	
▲	民間職業紹介機関 (営業担当)	・本格的な人員の補充は9月以降となるケースが多いため、現状は中だるみのような状況で、求人数、求職者共に減少が予想される。	

▲	学校 [大学] (就職担当)	・ A I の普及や雇用形態の変更などで、文系の新卒の雇用を減らす企業が出始めており、就職活動の後半戦に影響が出てくることを懸念している。
▲	学校 [大学] (就職担当)	・ 中東情勢が不透明ななか、原材料価格の高騰による影響を受ける。賃上げ幅が一般企業と比べて小さいため、特に若手人材の流出が懸念される。当面の求人事業所数に変化はないとみられるものの、採用予定人数を含めて、先行きは不透明である。
▲	学校 [大学] (就職担当)	・ エネルギー関連や石油製品などの調達難やナフサ不足のなか、日用品や建築資材など、あらゆる分野に影響が出ている。通常の業務に支障が出ている業界もあり、業務の停止や、最悪は倒産に至るケースも考えられる。
×	*	*